

水稻情報 (第5号)

令和8年7月3日
あおば農業協同組合
各地区農業技術者協議会

○6月30日現在、平年に比べコシヒカリの草丈はやや長く、茎数はやや多く、葉色は平年並みとなっており、幼穂形成期は5月10日植えて7月5日頃、出穂期は7月27日頃と予想されます。
○斑点米カメムシ類が大発生しています。適切な草刈りと防除の徹底で斑点米の発生を防止しましょう。

1. コシヒカリの生育状況

表 あおば管内のコシヒカリ生育状況（6/30現在、（ ）は予測値）

調査年	田植日	草丈 (cm)	茎数		葉齢	葉色	幼穂 形成期	出穂期
			本/株	本/m ²				
R8	5/10	61.4	26.1	523	11.3	4.2	(7/5)	(7/26)
R7	5/11	59.2	22.9	477	10.9	4.2	7/10	7/31
平年(H28~R7)	5/10	56.6	24.5	502	10.9	4.2	7/9	7/31

2. コシヒカリの穂肥施用

～適切な穂肥で収量と品質を確保～

○基肥一発施肥体系の場合

- ・出穂7～10日前（右図参照、7/17～20）に葉色を確認し、葉色が4.0（砂壤土4.2）以下と淡い場合は、出穂3日前までに追肥3号で5～7kg/10aを施用しましょう。

○分施体系の場合

- ・施用前に幼穂形成期（幼穂長2mm）を確認し、時期を判断しましょう。
- ・穂肥は、幼穂形成期の8日後（幼穂長15mm、右写真）の生育状況に応じて下表のとおり施用しましょう。

表 分施体系における穂肥（追肥3号）の目安

幼穂形成期の 8日後の生育状況		1回目		2回目	
		施用時期	施用量 (kg/10a)	施用時期	施用量 (kg/10a)
適正	草丈 82 cm程度 茎数 430 本/m ² 程度 葉色 3.6 程度	幼穂長 15 mm (幼穂長 2 mm確認 8日後頃)	10	1回目の 7日後	10～13
やや 過剰	草丈 85 cm以上 90 cm未満 茎数 480 本/m ² 程度 葉色 3.8 程度	幼穂長 20 mm (幼穂長 2 mm確認 10日後頃)	5～7	1回目の 7日後	10～13
過剰	草丈 90 cm以上 茎数 500 本/m ² 以上 かつ葉色 3.8 以上	施用しない		幼穂長 2 mm確認から 15日後頃 (出穂 7 日前頃)	10～13

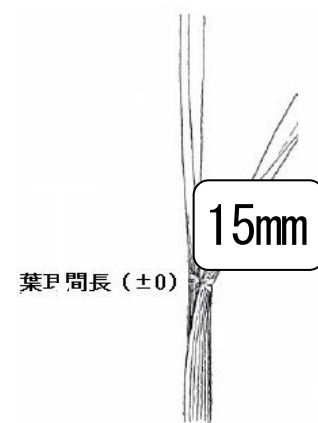


図 基肥一発施肥体系の
追加穂肥施用判断時期

止葉の葉耳（葉の付け根）
とその下の葉の葉耳が同じ
高さにある時期（葉耳間長
±0）が出穂10日前の目安
です



写真 分施体系の穂肥施用
判断時期

3. てんこもりの穂肥施用

てんこもり（5/10 植え）の幼穂形成期は7/9頃、出穂期は7/31頃と予想されます。

○基肥一発施肥体系の場合

- ・幼穂形成期以降の葉色が4.0（砂壤土：4.2）を下回らないよう、葉色が淡いほ場では速やかに（出穂3日前までに）追肥3号を7kg/10a施用しましょう。

○分施体系の場合

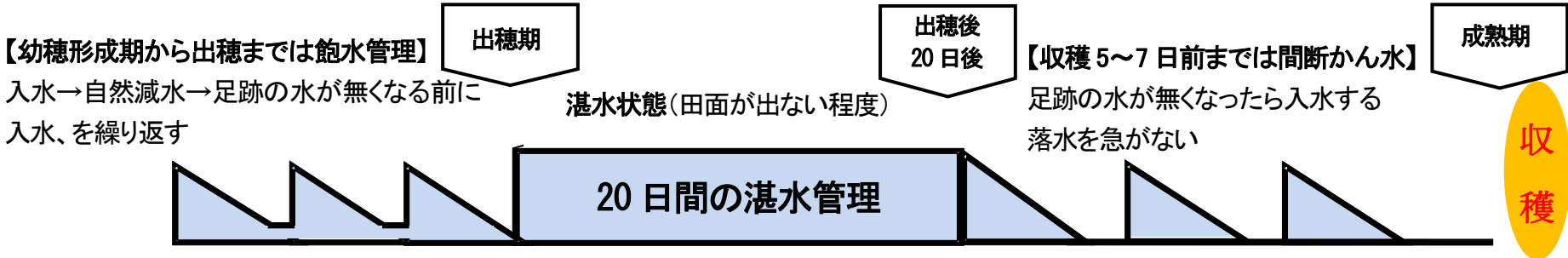
- ・穂肥の1回目は幼穂形成期（幼穂長2mm：7/10頃）、2回目はその10日後に、追肥3号を10～13kg/10aずつ施用しましょう。

熱中症対策や刈払機での作業時の安全確保等、安全対策に留意しましょう。

うら面
に続く

4. 今後の水管理

～フェーンや高温が予想されるときは事前に入水～



カメムシ対策 第5回

～カメムシ大発生！草刈りと防除の徹底を～

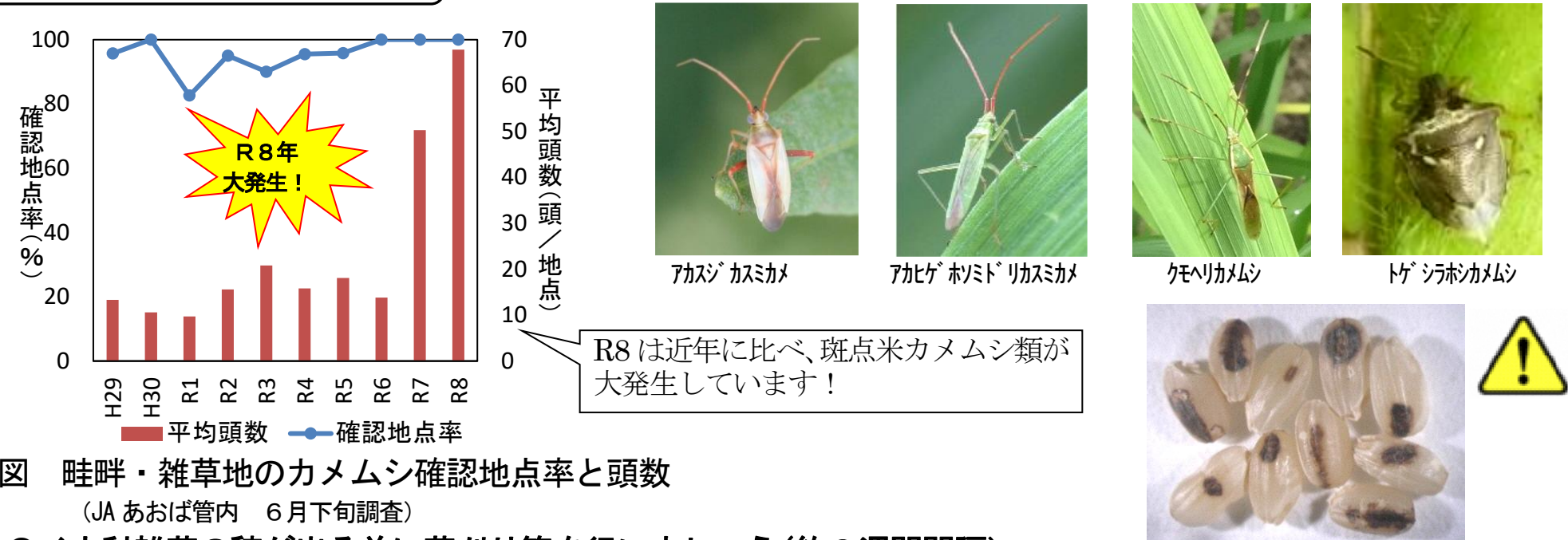


図 畦畔・雑草地のカメムシ確認地点率と頭数 (JA あおば管内 6月下旬調査)

- イネ科雑草の穂が出る前に草刈り等を行いましょう(約3週間間隔)。
 - ※ほ場内のヒエ等も穂が出る前に抜き取りましょう。
 - ※雑草の穂が出てから草刈りを行うとカメムシ類が本田内に移動します。
- やむを得ず穂の出ている雑草を刈る場合は、移動するため本田の薬剤防除の直前に行いましょう。
- 農薬散布は下表を参考に水稻の出穂状況を確認して行いましょう。防除間隔は7日を目安とし、10日以上あけないようにしましょう。

表 防除時期の目安(平坦地)～穂揃期+傾穂期の2回防除を徹底!～

品種 (田植時期)	てんたかく (連休植え)	コシヒカリ (5/10植え)	てんこもり (5/10植え)	薬剤名、散布量		対象病虫害
出穂予想	7/8～7/10	7/25～7/27	7/30～8/1			
1回目 穂揃期	7/11～7/13 ↓7日後	7/28～7/30 ↓7日後	8/2～8/4 ↓7日後	粉剤	ビームスタークル粉剤5DL 4kg/10a(収穫7日前まで)	いもち病 カメムシ類 ウンカ類
				液剤	ビームエイトスタークルゾル 1,000倍 100～150ℓ/10a(収穫7日前まで)	
2回目 傾穂期	7/18～7/20	8/4～8/6	8/9～8/11	粉剤	キラップ粉剤DL 4kg/10a(収穫14日前まで)	カメムシ類 ウンカ類
				液剤	キラップフロアブル 1,000倍 100～150ℓ/10a(収穫14日前まで)	
3回目 (多発時) 【随時】	収穫7日前 まで	収穫7日前 まで	収穫7日前 まで	粉剤	スタークル粉剤DL 3kg/10a	カメムシ類 ウンカ類
				液剤	スタークル液剤10 1,000倍 100～150ℓ/10a	

○農薬は使用基準を守って、正しく使用しましょう。また、風の無い時間帯に均一に散布して下さい。

【粒剤体系(コシヒカリの場合)】

- 1回目 : 7/18頃(出穂5～10日前)にワイドパンチ豆つぶ(250g/10a)を湛水してから散布する。
- 2回目(随時): 7/29頃(穂揃期)にスタークル豆つぶ(250g/10a)を湛水してから散布する。

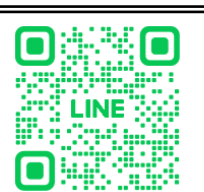


LINEによる営農情報の提供を始めました。

【情報提供内容】

- ・水稻情報
- ・緊急的な気象情報や災害防止策、栽培管理情報など

友だち追加はこちら
右のQRコードに
スマホをかざして
ください



農薬危害防止運動実施中!(4/1～9/30)

- 住宅地周辺で散布する時は事前に周知し、飛散防止を徹底
- 使用前には必ずラベルで作物名・使用方法等を確認
- 農薬は適切に保管・管理し、使用した場合は必ず記帳
- 農薬を調整・散布する時は、マスクなど防護装備を正しく着用